|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | 仮想マシンを作成する |
| 目的（ゴール） | | 仮想マシンが作成され、利用者がアクセス可能な状態になる |
| アクター | | 利用者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | 利用者が仮想マシン作成要求を出す |
| 事前条件 | | 利用者が認証済みである 利用可能なリソースが存在する |
| 事後条件 | | 仮想マシンが作成されていること |
| 拡張点 | | 構築済み仮想マシンを作成する場合 |
| 関連ユースケース | | 構築済み仮想マシンを作成する |
| イベントフロ｜ | メインフロー | 1. 利用者はシステムに仮想マシン作成要求をする 2. 利用者はOSイメージやスペック（CPU、メモリ等）選択を求める 3. 利用者はネットワークを選択する 4. システムは入力された情報が正確であるか確認し、承認を求める 5. 利用者は提示された情報が正確であるか確認し、承認する  6. システムは入力された情報から仮想マシンを作成し、正常に処理されたことを提示する |
| 代替フロー | Alt-1 情報が選択されていない場合   1. 情報に不備、不足があることを利用者に提示する 2. メインフロー2に戻る |
| 例外フロー | Ex-1 構築済み仮想マシンを作成したい場合   1. 構築済み仮想マシンを選択して作成する（UC00）に遷移する   事後条件  構築済み仮想マシンを選択して作成するに遷移していること  入力情報を破棄していること  Ex-2 メインフロー2からメインフロー5までに利用者からキャンセル要求をされた場合   1. 利用者はシステムにキャンセル要求を出す 2. システムは入力されていた情報を破棄し、キャンセルが終了したことを提示する   事後条件  システムが待機状態に戻っていること  入力されていた情報が破棄されていること |
| 備考 | |  |